

杉劇

アート de 伝承

プロジェクト

2019レポート

地域の知られざる歴史や魅力を掘り起こす!!

プログラムⅠ

調査記録プログラム

プログラムⅡ

伝承プログラム

プログラムⅢ

地域文化普及プログラム

Chosa
kiroku



Jidai-geki



rooboku



gagaku



recorder's



sugigeki ☆ kagekidan



utagoe



lobby
performance



SUGIGEKI
ART DE DENSHO PROJECT
2019 REPORT

横浜市磯子区民文化センター

杉田劇場

助成：一般財団法人 地域創造

調査・記録プログラム

「地域の文化はいつから始まったの？」
 「地域のお宝発見！！」「こんな歴史があったんだね！」
 地域を愛する人たちが文化を未来へ紡いでいくプログラム。

いそご文化資源発掘隊

磯子区の歴史や文化を掘り起こす“いそご文化資源発掘隊”。今年度も昨年度に引き続き、調査・記録プログラムの一環として、調査から得た磯子区の人や歴史の情報を元に、まち歩きや講座、座談会を開催しました。

第45回 美空ひばりが立った磯子の舞台

実施日：2019年6月24日 お話：曾根武夫さん、鶴田理一郎さん、松永春さん 参加者：56名
 旧杉田劇場をはじめとする磯子区周辺の劇場や、美空ひばりにゆかりのある方々をお招きし、お話を伺いました。



第46回 NTTのケーブル名は歴史の生き証人～電柱をめぐる小さな旅①

実施日：2019年10月28日 案内：多根雄一(杉田劇場スタッフ) 参加者：18名
 日頃何気なく見る電柱には、その上部にケーブル名を示す小さなプレートがあります。中には不思議な名前のももあり、その地域の歴史を物語る内容が含まれていることもあります。この回では杉田周辺を散策しながら、プレート名の謎を解いていきました。



第47回 地図博覧会 in磯子 ～地図と写真でめぐる町の今昔

実施日：2019年12月22日
 講師：網河功さん、山岸丈二さん、山崎洋子さん、故石黒徹さん(残された映像での参加)、
 NPO法人横浜シティガイド協会の皆さん
 参加者：58名
 古い地図や写真、絵ハガキなどから町の歴史を読み解き、講師の方々それぞれの専門分野からお話を伺いました。



第48回 講座『まち歩きが楽しくなる神社の話②』

実施日：2020年2月8日 講師：小沢朗(伝承プロジェクト調査員) 参加者：37名
 好評だった昨年度のお話に引き続き、磯子区内における神社の調査や研究をしている小沢朗調査員が、今後のまち歩きに活かせる神社の基礎知識を説明しました。また、今回は杉田八幡宮神楽殿で開催ということで、講演に先立ち宮司の三浦武さんにもその由緒と歴史をお話いただきました。



調査・記録

磯子区の歴史に詳しい調査員とともに、今年度は磯子区内の15神社のうち3社へヒアリングを行い、お祭りや神輿などにまつわる貴重な情報を得ることができました。今年度はその3社をクローズアップしたDVD付きの冊子「磯子の祭景」を作成し、地域の神社や公共施設に配布しました。これらは3か年計画で、磯子区内すべての神社の情報をまとめたものとして作成される予定です。

いそご文化 円卓会議

磯子区内の歴史や様々な情報、人を知る方々に、各事業のアドバイスをいただく作戦会議の場。

磯子文化 ガイドマップ5

磯子の街並みの文化と歴史を、マップとともに紹介しております。磯子区内を中心に配布中！



伝承プログラム

区内の学校教育の中に、古典芸能をはじめ地域に根差した伝統的な芸能や文化を知る機会を取り入れてもらうプログラム。

横浜市の教員には、磯子区音楽教育研究会等の研修プログラムとして、学校または杉田劇場で「古典芸能講座」を実施。児童・生徒には、「古典芸能体験塾」として、杉田劇場で本物の古典芸能を体験・鑑賞する機会を提供しています。

また、本年度は伝承プロジェクトチームがコーディネートした伝統芸能を地域で体験するプログラムを実施しました。

杉劇アート体験塾

郷土の横浜が空襲に見舞われたこと、江戸時代の生活のこと、歴史のある日本の音楽のことなど、こどもたちに、時代が変わっても忘れてはならないこと、伝えていきたいことを舞台にして、杉田劇場で体験してもらうプロジェクト。地域発の朗読劇、時代劇、邦楽(雅楽)を取り上げました。

vol.13 横浜夢座 朗読「真昼の夕焼け」

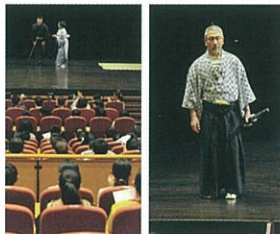
昭和20年5月29日の横浜大空襲で、大戦禍に見舞われた横浜…その日、当時中学生だった作者が見た横浜の市街地の悲惨な光景、その日の淡い出会いを朗読劇にしました。横浜出身の女優、五代路子さん率いる横浜夢座が、「こどもたちに戦争を知ってもらいたい」という熱い想いを伝えるため、磯子区内の小学生に向けて上演しました。

実施日：2019年6月14日

参加校：さわの里小学校6年生(49名) 杉田小学校6年生 (127名)



vol.14 劇団若獅子 ～時代劇を学ぼう～



「新国劇」の精神を受け継ぎ、真に格調ある大衆演劇の継承・保存・定着を目指し活動されている「劇団若獅子」の役者さんから、江戸時代の言葉づかいや所作、生活習慣などをわかりやすく解説してもらいました。現代でも使われている言葉があることを知り、殺陣を通じて命の大切さを学びました。また、こどもたちも実際に舞台へ上がり、殺陣や着付けの体験をしました。

実施日：2019年12月5日

参加校：杉田小学校6年生(128名)

vol.15 邦楽を堪能しよう

磯子区在住の笙奏者・真鍋尚之さんとその仲間達による雅楽と舞楽を、本格的な雅楽の舞台を設営し、解説を交えながら上演しました。小学校の音楽の授業でも取り上げる「越天楽」の演奏や楽器の解説、雅楽器を演奏するための練習の体験など、日本の伝統芸能に触れる貴重な体験をしました。

実施日：2020年2月5日

参加校：杉田小学校6年2組(32名)



劇場に来てみてどうでした？

Q1：今まで劇場に来たことはありますか？

いいえ 約0.3%
はい 約99.7%

Q2：生の音楽や劇を観てどんな気持ちになりましたか？

- 音楽の楽器の使い分けの仕方がうまく、その場面の様子が想像しやすくなっていました。
- 演技している人たちのその時々判断がすばしかったです。それは演じているのだけど、私には本当に一生懸命決断をしているように見え、伝えようとしている気がしたからです。
- 役者の声と、役の声がぜんぜん違ったことにおどろきました。
- 時代劇と歌舞伎の違いがおもしろかったです。歌舞伎は観たことがあったのですが、説明を聞いて納得しました。歌舞伎は面白味があって、時代劇は現実味みたいなのがありました。
- 生で見ると、とても力があふれ、音もしっかりひびいていることが分かった。
- 日本独自の雅楽の響きを実際に聞けて良かった。

\\ 地域文化普及プログラム //

地域の歴史や人を、文化や芸術を通して伝えていく担い手育成プログラム。

今年度より、地域の伝統文化・工芸の達人によるワークショップ“こども文化資源発掘隊”を開催。

また、公募による地元の小・中・高校生と大人たちによる

地域密着型エンターテインメント集団“杉劇☆歌劇団”は、

日常と地域伝承の物語をテーマにした新作芝居上演で更なる飛躍を果たし、

杉田劇場冬まつりライブを大きく盛り上げました。

こども文化資源発掘隊

～夏休みの工作はこれで決まり！

うぐいす笛とガリガリトンボを作ろう

“いそご文化資源発掘隊”の番外編として、夏休みの宿題にも役立つテーマで開催。もの作りを通して、こどもたちと地域の大人の交流の場を設けました。

実施日：2019年8月2日 案内：曾根武夫さん 参加者：9名



杉劇☆歌劇団

冬まつりライブでの新作お芝居は「ジロウズ トーチ」。

舞台は、地元を題材にしたオリジナルミュージカルを上演する劇団の稽古場。本番を2日後に控えた団員たちは緊張感に包まれているはずなのだが、思いがけないトラブルの連続で大混乱。はたして彼らは無事に本番を迎えることができるのか—洋光台に伝わる「かいがば次郎」の逸話もエピソードに盛り込み、温かみとどこか懐かしさをも感じられる物語となりました。



杉田劇場冬まつりライブ2020



杉田劇場で地域の人たちが中心となって行う冬まつり。今年度は15周年を記念し、昼夜の2部構成で盛大に開催しました。第1部は地元のダンスユニットによるパフォーマンスで、第2部は無形文化財として名高い森浅間神社のお囃子、歌劇団の新作公演や商店街の親父バンド“プラムズ”が地域の皆さんと楽しくお祝い。こどもからおとなまで、杉田の良さを受け継いでいくお祭りになりました。実施日：2020年2月9日

杉劇リコーダーず



2006年7月に杉田劇場で生まれた「世界中のおとなとこどものためのリコーダーアンサンブル」。友達・兄弟・親子と一緒にリコーダーを楽しめるアンサンブルチームになりました。今年度は12月24日に入間市民文化会館へクリスマス出張演奏に行きました。周辺地域以外にもリコーダーずの音色が届いています♪

歌声プロジェクト



2014年7月、杉田小学校音楽朝会でこどもたちの歌声を聴き、この歌声を街の人たちにも聴いてもらいたいという当時の校長先生のことばを商店街につないで、地域の交流会で賛同のもと発展した事業。こどもたちの歌声を、学校に向かい杉田劇場の専門スタッフが収録し、磯子区内の商店街と磯子区役所に届けています。商店街を歩き交う方々や学校関係者、地域住民のみならず大変好評で、「街がこどもたちの歌声で、元気になっている」という声が多く寄せられています。

実施小学校：浜小学校、梅林小学校

ロビーパフォーマンス



杉田劇場で毎月1回（今年度より1日もしくは月初めの平日）に開催している、未就学児向けイベント「ロビーパフォーマンス」。今年度は紙芝居や手遊び、さらには声楽家による歌唱や打楽器パフォーマンスも登場と豪華な内容でお届けしました。障がいのあるこどもたちも、おじいちゃんおばあちゃん世代も多く参加しています。身近な地域の居場所としての杉田劇場を知ってもらうきっかけにもなっています。

横浜市磯子区民文化センター

杉田劇場

[公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/特定非営利活動法人チーム杉劇/有限会社アイコニクス/株式会社ニックスサービス共同事業体]

〒235-0033 横浜市磯子区杉田1-1-1(らびすた新杉田4階)

電話:045-771-1212 FAX:045-770-5656

Eメール:sugigeki@yaf.or.jp URL http://www.sugigeki.jp/